

2月参観日・全体会(2月1日)

2月1日(金)に、今年度最後の授業参観・全体会・学級懇談会がありました。たくさんの保護者の方が来られ、子ども達の学習の様子を見ていただきました。全体会では、昨年度から取り組んでいる「ゲーム・スマホとの関わり方」について、保護者の皆さんと一緒に話をしました。



1年生は、ALTのブレンドン先生と一緒に英語で「動き」の学習をしました。発音したり、聞いて動いたり楽しんでいました。おうちの方とも一緒にゲームをしました

3年生は音訓カルタ作りを、4年生は熟語の意味を考える学習をしました。どちらの学年も辞書で読み方や意味を調べながら集中して学習しました。複式での学習でしたが、「1学期よりももう一方の学年の事を気にしすぎず勉強していたね。」という声も聞かれました。



今年度最後の授業参観。
どの学年も、一生懸命がんばりました。



5・6年生は、参観されたおうちの方々に仕事についてのインタビューをさせていただくという貴重な経験をしました。「努力して仕事についている人が多かった。自分のやりたいことに向け努力したい。」「人の役に立っていると感じる事がやりがいにつながっている。自分も本当にしたいと思う仕事を見つけないかな」など、自分の将来とも関連づけて考えることができました。

全体会～ゲームやスマホとの関わり方を考える～

生活習慣の中で本校の課題である「テレビやゲームの時間が長い」ことや、「ゲーム障害が認められたこと」について説明がありました。



児童のはしやお茶碗の持ち方についての説明もありました。

参加された保護者・教員が4つのグループに分かれ、ゲーム使用等についての子どもの実態や家庭で取り組んでおられること、悩みなどを交流しました。皆さんとざくばらんに話のできるよい機会でした。



「キッチンタイマーを使って時間を制限している。」「ゲームより楽しいと思える経験をさせている。」などの意見が出されました。

子ども達が、自己コントロールする力を付けるためには、児童期の大人の声かけや関わりが大切だと感じました。これからも学校と家庭が協力して、子ども達に生きていく力を育んでいきたいですね。